

令和4年度 宇都宮市立東小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

○教育目標 心身ともに健康で、創造力、実践力に富み、自主的精神に満ち、国際社会に貢献できる個性豊かな日本人を育成する。

○目指す児童像

なかよく	かしこく	たくましく	がんばる
豊かな心を持ち 思いやりのある子	自ら考え 進んで学ぶ子	素直で明るく 健康な子	気力をひめ、 精いっぱいがんばる子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「一人一人を大切にする」「多様性と人権を尊重する」を基盤に、「共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを味わえる学校づくり」の推進

（目指す学校像）

- きまりを守り、活気あふれ笑顔が輝く学校
- 学ぶことを大切に、子供と教師が共に育つ学校
- 地域と共に歩み笑顔がつながる学校

（目指す教師像）

- 使命感と教育愛にあふれた指導力のある教師
- 子供に寄り添い、共に学び共に伸びる教師
- 子供・保護者・地域から信頼される教師

⇔

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）持続可能な学校指導・運営体制の構築「働き方改革の推進」

①勤務時間を意識した働き方の推進 ②校内業務の適正化・効率化 ③保護者や地域の教育資源の有効活用

（2）「豊かな心」の育成…学校づくりの視点①「よさを認め、励まし伸ばす指導の充実」

○①互いのよさを認め合い、共に伸びる喜びを味わえる学校づくり ②基本的な生活習慣の育成

③規範意識の醸成 ○④人間関係力・社会性の育成 ⑤児童指導・教育相談・特別支援教育・いじめ対策の充実

（3）「確かな学力」の育成…学校づくりの視点②「共に学び、楽しく分かる授業の推進」

①主体的に取り組む、共に学び、楽しく分かる授業づくり

②対話的で深い学びを通して、思考力・表現力を伸ばし、高める指導の工夫 ③基本的学習態度と基礎・基本の確実な定着

④読書活動の充実 ○⑤家庭学習の定着・充実 ⑥家庭・地域との連携・協力

（4）「健やかな体」の育成…学校づくりの視点③「たくましく生きる力を育む指導の充実」

①自ら健康や体力づくりに励み、たくましく生きる人づくり（体力の向上と健康教育の推進）

②安全指導の強化・徹底 ○③望ましい食習慣の向上

（5）「強い意志力と実践力」の育成…学校づくりの視点④「達成感を実感させる指導の工夫」

①愛情や誇りを感じ、夢や希望をもてる学校づくりの推進 ②特色ある学校づくりの推進

（6）「家庭との連携」の推進…学校づくりの視点⑤「家庭とつながる学校づくりの推進」

①家庭と協働して子供を育む教育活動の推進 ②地域とともにある学校づくりの推進

（7）「地域との連携」の推進…学校づくりの視点⑥「地域とつながる学校づくりの推進」

①地域と協働して子供を育む活動の推進 ②陽北地域学校園における小中一貫教育の充実

【陽北地域学校園教育ビジョン】 学びあい 認めあい 高めあう 陽北地域学校園

4 教育課程編成の方針

（1）日本国憲法、教育基本法、学校教育法、小学校学習指導要領等の教育関係諸法令、並びに栃木県及び宇都宮市の教育委員会の学校教育推進の方針及び指導の重点、第2次宇都宮市学校教育推進計画、第2次宇都宮市学校教育スタンダード等の示すところに従い、本校の教育目標の達成を期するように編成する。

（2）児童の発達段階や各教科等の特性、学習指導要領の趣旨を生かし、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かで自ら学び考えるなどの「生きる力」を身に付けた児童の育成を目指した教育課程の編成に努める。

（3）本年度の学校教育目標、学校経営の方針、努力点や具体策、学校課題の具現化を図るとともに、家庭・地域との連携を深め、地域の教育力を生かした教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- ・ICTの活用を通じた授業力・個々のよさを認め励ます指導力の向上
- ・勤務時間を意識した働き方と業務の効率化による持続可能な運営体制づくり

【学 習 指 導】

「自分の考えをもち、表現することができる児童の育成 ～考えの形成を促す単元構成の工夫を通して～」

【児 童 生 徒 指 導】

「ルールやマナーを守る態度の育成」 ・ 基本的生活習慣を身に付け、互いに協力し合う、心豊かな児童の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

「自ら進んで心と体の健康づくりに取り組む児童の育成」

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価												
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 児保「児童は、授業中、話をしっかり聞いたり、発表したりするなど進んで学習に取り組んでいる」 ⇒児保 肯定的回答 80%以上	① 問題意識の醸成を図ったり、授業のめあてを確認・提示したりして、児童が進んで学習に取り組めるように工夫する。 ② 見通しをもって学習や活動を進めさせたり、 <u>学びあいの場の設定を工夫</u> したりして、積極的に授業に関わるような場面を設ける。	B B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>93.8</td><td>92.7</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・ 学び合いの場の設定や学習活動の工夫をしたことにより、目標値を大きく上回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。		児童	保護者		肯定的回答	93.8	92.7		目標値	80%以上		
		児童	保護者													
	肯定的回答	93.8	92.7													
	目標値	80%以上														
A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 児保地「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児保地 肯定的回答 90%以上	① 道徳、学級活動、帰りの会の「ほめほめタイム」などを通して、互いのよさを認め合う心を育てる。 ② 異学年間のふれあいの充実を図るために、学校行事・児童会・キッズタイム等の活動を工夫する。 ③ Q・U（3年生～6年生）及びアンケート（1年生、2年生）をもとに教育相談を実施し児童の考えや悩みを適切に捉え、指導にあたる。	B B B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>86.9▲</td><td>93.3</td><td>100.0</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> ・ 児童の肯定的回答は目標値をやや下回ったが、保護者と地域は目標値を上回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。		児童	保護者	地域	肯定的回答	86.9▲	93.3	100.0	目標値	90%以上			
	児童	保護者	地域													
肯定的回答	86.9▲	93.3	100.0													
目標値	90%以上															
A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 児保地「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児保地 肯定的回答 80%以上	① 基本的な学習態度の習慣化を図るため、 <u>地域学校園の学習時のきまり「準備・着席・よい返事」の推進を図る。</u> ② 児童一人一人のきまりやマナーに対する意識を高めるため、「ひがしの子のやくそく」の推進を図る。また、教職員間で共通理解を図る。 ③ 生活目標の確認と振り返りを継続して行い、児童一人一人のきまりやマナーに対する意識を高めていく。	B B B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>89.8</td><td>97.7</td><td>100.0</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・ 児童・保護者・地域共に肯定的回答は目標値を上回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。		児童	保護者	地域	肯定的回答	89.8	97.7	100.0	目標値	80%以上			
	児童	保護者	地域													
肯定的回答	89.8	97.7	100.0													
目標値	80%以上															
A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 児保地「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児保地 肯定的回答 80%以上	① <u>陽北中学生徒会と連携し、児童会を中心としたあいさつ運動を定期的に実施する。</u> ② 生活目標に、あいさつに関する具体的なめあてを取り入れ、意識づけを図る。 ③ あいさつ指導の際、あいさつの仕方や地域の方に対するあいさつについても学校生活全体を通して、継続して指導していく。	B B B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>94.3</td><td>91.9</td><td>83.3</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・ 児童・保護者・地域共に肯定的回答は目標値を上回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 児童の主体的な取組を取り入れるなど内容をさらに充実する。 ③ 今年度の取組を継続する。		児童	保護者	地域	肯定的回答	94.3	91.9	83.3	目標値	80%以上			
	児童	保護者	地域													
肯定的回答	94.3	91.9	83.3													
目標値	80%以上															

A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。

【数値指標】

児保「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」

⇒児保 肯定的回答80%以上

① 教科学習や特別活動等の様々な場面で、児童一人一人にめあてを持たせ、指導し、それを評価させたり称賛しあったりして、最後までがんばる心を育てる。

② 校内百人一首大会・ドッジボール投げリレー大会・長なわ跳び大会等の場を活用して、めあてに向かって努力し最後までがんばる心を育てる。

③ 児童一人一人のがんばりを、保護者に理解してもらえよう、各種たより、HP等で伝えていく。

B

【達成状況】

	児童	保護者	
肯定的回答	90.9	88.0	
目標値	80%以上		

・今年度は授業参観や学校行事が行えことで、児童・保護者ともに肯定的回答の数値が上昇した。

【次年度の方針】

- ① 今年度の取組を継続する。
- ② 今年度の取組を踏まえ、次年度の内容を検討する。
- ③ 今年度の取組を継続する。

B

B

A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。

【数値指標】

児保地「児童は、健康や安全に気を付けて生活している」

⇒児保地 肯定的回答90%以上

① 「陽北地区一斉食事マナー強化月間」や給食委員会が中心となり、食事のマナーを意識づけた給食活動を推進する。

② 児童の体力向上のために、体育の始業時に「東校サーキット（補強運動）」を全校体制で取り組んだり、各種検定（水泳・縄跳び）などを活用したりして児童の体力強化を図る。

③ 「自分の命は自分で守る」意識を持たせ実践的な各種避難訓練を実施するとともに、地域・保護者と連携した登下校指導を行い、日々安全に気を付けた生活ができるよう指導する。

④ 委員会活動の充実を図り、健康への意識を深める。

⑤ 日常生活でも新しい生活様式を根付かせ、感染症を予防できるようにする。

B

【達成状況】

	児童	保護者	地域
肯定的回答	92.0	96.7	100.0
目標値	90%以上		

・児童、保護者、地域の肯定的回答が目標値を上回っている。
・今年度は水泳の検定を実施でき、東校サーキットやなわとび検定など体力向上の取組が定着した。

【次年度の方針】

- ① 今年度の取組を継続する。感染状況により実施できない活動もあったため、感染状況を見ながら活動に取り組んでいきたい。
- ② 体力向上のための取り組みとともに、運動の楽しさを味わえるような取り組みも行うなど、内容をさらに充実する。
- ③ 水防に関する訓練を検討するなど、内容をさらに充実する。
- ④ 今年度の取組を継続する。
- ⑤ 今年度の取組を継続する。

B

B

B

A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。

【数値指標】

※A 5で評価

① 一人一人が活躍できる学年・学級経営を充実させるとともに、成就感や達成感を味わえる児童会活動・学校行事を工夫し、社会に目を向け努力できるよう支援する。

② 全校体制による百人一首の計画的な推進、縦割り班（キッズ班）活動の工夫・充実を図りながら、愛情や誇りを感じ、夢や希望のもてる学校づくりに努める。

B

【達成状況】

	児童	保護者	
肯定的回答	90.9	88.0	
目標値	80%以上		

・児童に関して目標値を上回った。
・感染症対策で行事の内容に制限がかかる中で、児童会活動や学校行事を行うことができた。

【次年度の方針】

- ① 今年度の取組を継続する。
- ② 今年度の取組を継続する。

B

A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 児教「児童は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児教 肯定的回答80%以上	① ALTを効果的に活用し、英語でのコミュニケーションに親しむ機会の充実を図る。 ② 外国語担当教諭が中心となって、校内研修を開催し、教職員の資質向上を図る。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>93.8</td><td>93.8</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・外国語の授業において、ALTとともに授業を行うことによって、児童は積極的にコミュニケーションを図ろうとしていた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。		児童	教職員		肯定的回答	93.8	93.8		目標値	80%以上		
	児童	教職員												
肯定的回答	93.8	93.8												
目標値	80%以上													
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 児教保「児童は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒児教保 肯定的回答80%以上	① 生活科や社会科、総合的な学習の時間（宇都宮学）等で、身近な地域の良さを踏まえ、市全体の特徴を捉えられるよう学習活動を工夫していく。 ② 全校体制で校内百人一首に取り組み、「校内百人一首大会」や「うつのみや百人一首市民大会」に多くの児童が参加して、宇都宮市にゆかりの深い百人一首に親しむとともに、日本語の響きやリズムに親しませる。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>教職員</td><td>保護者</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>89.8</td><td>87.5</td><td>72.9▲</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・各教科、総合的な学習の時間、学校行事等を通して郷土の歴史や文化に関わる活動を取り入れてきた。児童・教職員は目標値を上回った。保護者は目標を達成できなかったが、市の平均と比較すると5ポイントほど上回っている。 【次年度の方針】 ① 体験的な活動もできる限り積極的に取り組むなど、内容をさらに充実する。 ② 地域の文化財と関連させながら今年度の取組を継続する。		児童	教職員	保護者	肯定的回答	89.8	87.5	72.9▲	目標値	80%以上		
	児童	教職員	保護者											
肯定的回答	89.8	87.5	72.9▲											
目標値	80%以上													
A 10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 児教保「児童は、ICT機器や図書室を学習に活用している」 ⇒児教保 肯定的回答80%以上	① 各教科、領域において、パソコンやインターネット等を効果的に活用した授業を継続的に実施したり、授業研究会を通し、教職員の指導力向上を図ったりする。 ② 担任と図書館司書が連携して学習に必要な本を用意したり、調べ学習の場を工夫したりして、児童の学びを深める。 ③ 図書館だよりで児童の読書活動の様子を紹介したり、ファミリー読書を推奨したりして、家庭との連携を図る。 ④ <u>地域学校園で図書館だよりを発行する。</u>	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>教職員</td><td>保護者</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>86.4</td><td>100.0</td><td>85.1</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・一人一台端末の効果的な活用により、目標値を上回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。 ④ 今年度の取組を継続する。		児童	教職員	保護者	肯定的回答	86.4	100.0	85.1	目標値	80%以上		
	児童	教職員	保護者											
肯定的回答	86.4	100.0	85.1											
目標値	80%以上													
A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 ※A 2で評価	① 「昔遊び交流会」や「学校に泊まろう」等、高齢者と触れ合う機会を設定し、交流を図る。 ② 育成会や地域協議会と連携を図りながら、児童が高齢者とともに活動する機会を増やし、高齢者に対していたわりの心を育む。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>86.9▲</td><td>93.3</td><td>100.0</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> ・児童の肯定的回答は目標値をやや下回ったが、保護者と地域は目標値を上回った。 【次年度の方針】 ①② 交流ができる時期がきたら、活動が再開できるように準備をしておく。		児童	保護者	地域	肯定的回答	86.9▲	93.3	100.0	目標値	90%以上		
	児童	保護者	地域											
肯定的回答	86.9▲	93.3	100.0											
目標値	90%以上													

目 指 す 学 校 の 姿	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 児教「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている」 ⇒児教 肯定的回答80%以上	① わくわくタイムの学習を通して、身近な自分の生活と持続可能な社会との関わりを考えさせるなどして、福祉や環境、異文化交流への関心を高める。 ② 社会科や理科、環境教育をとおして、水や電気を大切にしたり動植物を思いやったりする心を育てる。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>84.1</td><td>68.8▲</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・児童、教職員ともに肯定的回答が目標値を下回った。 ・出前講座で、南極の話聞くなど、環境問題について考える機会があった。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。		児童	教職員		肯定的回答	84.1	68.8▲		目標値	80%以上		
		児童	教職員												
	肯定的回答	84.1	68.8▲												
	目標値	80%以上													
A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教 肯定的回答80%以上	① 「ケース会議」や「校内支援委員会」を通して教職員間の情報共有を図るとともに、学級間の情報交換を密にして広く児童理解に努め、組織的に児童の支援に当たる。 ② 「定期教育相談（6・1月）」の充実を図り、児童一人一人のニーズや悩みを把握し、関係機関との連携を密に行いながら、個に応じた支援を展開する。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td></td><td></td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>100.0</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・教職員の肯定的割合は、目標値を大きく上回った。 【次年度の方針】 ① 学年間の情報交換を密に行い、児童理解に努めるとともに、関係職員へ早めの相談・周知、児童に関する情報を収集しておくことにより、有効な「ケース会議」や「校内支援委員会」にしていく。 ② 進級進学に向けて集中できるよう、1月の教育相談を12月に実施する。		教職員			肯定的回答	100.0			目標値	80%以上			
	教職員														
肯定的回答	100.0														
目標値	80%以上														
A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 児「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 保地「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 ⇒児保地 肯定的回答90%以上	① 教育活動全体を通して、児童に「いじめは決して許されない」ことを指導する。 ② 「いじめゼロ強調月間」（5月・9月）に設け、いじめ根絶に努めるとともに、互いに認め合う心を育てる。 ③ Q-U やアンケートをもとに教育相談を実施し、児童の悩みを適切にとらえて指導にあたる。 ④ 家庭や地域との連携を深め、児童の実態把握に努める。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>98.3</td><td>93.4</td><td>100.0</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> ・児童・保護者・地域共に肯定的割合は、目標値を大きく上回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 児童指導情報交換会などの機会に全教職員間で情報の共有を図りながら指導していく。 ④ 今年度の取組を継続する。		児童	保護者	地域	肯定的回答	98.3	93.4	100.0	目標値	90%以上			
	児童	保護者	地域												
肯定的回答	98.3	93.4	100.0												
目標値	90%以上														
A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 児「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれる」 教保「教職員は、一人一人の児童を大切にし、児童がともに認め励まし合う学級づくりを行っている」 ⇒児教保 肯定的回答85%以上	① 児童一人一人が存在感をもち、自己実現の喜びを実感できる学級経営を実践する。 ② 欠席状況共有シートの作成による、不登校児童・不登校傾向の児童を共有する。 ③ 担任が児童及び保護者に積極的にかかわり、普段からの信頼関係づくりに努めるとともに、SCMのサポートやSC、子供家庭支援室、市のいきいきグループ等の関係機関との連携を密に行いながら、個に応じた支援を展開する。 ④ Q-U やアンケートを基に教育相談を実施、指導にあたる。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>教職員</td><td>保護者</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>96.0</td><td>93.8</td><td>92.9</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">85%以上</td></tr></table> ・児童・保護者・地域共に肯定的回答は目標値を上回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続。 ② 職員会議後の情報交換時に、不登校児童・不登校傾向の児童を共有する。 ③ 今年度の取組を継続。 ④ 今年度の取組を継続。		児童	教職員	保護者	肯定的回答	96.0	93.8	92.9	目標値	85%以上			
	児童	教職員	保護者												
肯定的回答	96.0	93.8	92.9												
目標値	85%以上														

A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ※A13で評価	① 日本語指導講師を活用し、個に応じた日本語指導を充実させる。 ② 日本語指導講師との学びが学級内で生かされ、当該児童の学校生活の充実につながるよう、担任との連携を密にする。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td></td><td></td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>100.0</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・教職員の不断の努力により、目標値を達成した。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。		教職員			肯定的回答	100.0			目標値	80%以上		
	教職員													
肯定的回答	100.0													
目標値	80%以上													
A17 学校は、活があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 児「私は今の学校が好きです」 保地「学校全体に活があり、明るくいきいきとした雰囲気である」 ⇒児保地 肯定的回答80%以上	① 異学年間のふれあいの充実を図るために、学校行事・児童会・キッズタイム等の活動を工夫する。 ② 児童会主催で、うつのみや元気っ子チャレンジによる、「みんなビュンビュン投げっ子隊」や「みんなビョンビョン跳びっ子隊」を行い、学級内の児童の絆を深める。 ③ 児童が楽しく生き生きと生活することができるように、水曜日にロング昼休みを設け、児童の自由遊びの時間を大切にする。 ④ 学校の取り組みを保護者や地域に知ってもらう。学校だよりもHPを見ていただくように記載する。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>88.6</td><td>97.7</td><td>100.0</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・児童・保護者・地域いずれも目標値を上回った。特に保護者においては昨年度の結果を約6ポイント上回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。 ④ 今年度の取組を継続する。		児童	保護者	地域	肯定的回答	88.6	97.7	100.0	目標値	80%以上		
	児童	保護者	地域											
肯定的回答	88.6	97.7	100.0											
目標値	80%以上													
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 児「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 保地「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細やかな指導をしている」 ⇒児保 肯定的回答80%以上	① 学習指導法の工夫・改善（ICT活用・少人数指導・習熟度やTT学習・かがやきルームの活用等）を図り、「分かる・できる・楽しい授業」を推進する。 ② 朝の学習の時間等において、漢字や計算の小テストやプリントを実施して、児童一人一人の理解度を把握し、個に応じた指導に努め、基礎・基本の定着を図る。 ③ 主体的・協働的な学びを通して思考力・表現力を育てるために、各教科での指導の在り方について研修を深める。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>96.6</td><td>85.7</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・ICTの活用や個別支援等により、分かる授業を展開し、目標を達成できた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。		児童	保護者		肯定的回答	96.6	85.7		目標値	80%以上		
	児童	保護者												
肯定的回答	96.6	85.7												
目標値	80%以上													
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教 肯定的回答80%以上	① 学校運営の方向性を明確にし、学校運営上の諸事項について、会議や打ち合わせを通して、全職員の共通理解を図り、全校体制で校務の遂行にあたる。 ② 日頃より良好な人間関係づくりに努めるとともに、教職員一人一人の能力、得意分野を生かした組織作りに努め、やりがいをもって仕事ができるような環境を整える。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td></td><td></td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>87.5</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・目標値を上回ったが、昨年度と比較すると数値が下がっている。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。		教職員			肯定的回答	87.5			目標値	80%以上		
	教職員													
肯定的回答	87.5													
目標値	80%以上													

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教 肯定的回答 80%以上	① 「働き方改革」を教職員一人一人が意識しながら日々の業務の内容や処理の仕方を精査し、業務の効率化を図っていく。 ② 学校スタッフと連携・協力を図りながら、効率的に業務を遂行できるようにしていく。 ③ 毎週金曜日を学校リフレッシュデーとし、そのうち月一回を NZD（ノー残業デー）として日課を工夫し、業務遂行の時間を意識して業務にあたるようにする。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td></td><td></td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>50.0▲</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> B ・目標値を大きく下回った。 【次年度の方針】 ① 「働き方改革」に対する意識を高められるよう実質的な業務効率化を図るなど、内容をさらに充実する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 取組が形骸化しないよう声掛けを工夫するなど内容をさらに充実する。		教職員			肯定的回答	50.0▲			目標値	80%以上		
	教職員													
肯定的回答	50.0▲													
目標値	80%以上													
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 児「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている」 保地「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」 ⇒児保地 肯定的回答 80%以上	① <u>あいさつ運動等の交流活動を推進し、小中教職員の連携を深めるとともに、児童の中学校入学への不安等の解消を図る。</u> ② 学力向上、心の教育、健康・体力向上等について小中教職員が協働して系統的な指導を推進できるような組織、体制を工夫していく。 ③ <u>小中連携で活動している内容を、児童や保護者にわかるよう発信していく。</u>	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>86.0</td><td>76.6▲</td><td>100.0</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> B ・あいさつ運動の展開や中学校教諭による乗り入れ授業などコロナ禍においてできる範囲の取組を行ってきた。保護者は目標値を下回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 学校だよりやホームページで積極的に紹介するなど内容をさらに充実する。		児童	保護者	地域	肯定的回答	86.0	76.6▲	100.0	目標値	80%以上		
	児童	保護者	地域											
肯定的回答	86.0	76.6▲	100.0											
目標値	80%以上													
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 児「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 教保地「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒教保地 肯定的回答 90%以上	① 地域協議会・まちづくり協議会・放課後子供教室・子供会など地域と学校との連携を進めながら、「学校に泊まろう」等の特色ある活動の充実を図る。 ② 保護者や地域企業等の協力を得ながら、八幡山公園、地域の商店や施設・寺院などで専門的、体験的な学習活動を行う。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>100.0</td><td>91.5</td><td>100.0</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> B ・地域の行事や各学年の校外学習など、活動を工夫しながら実施してきた。いずれも目標値を上回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。		教職員	保護者	地域	肯定的回答	100.0	91.5	100.0	目標値	90%以上		
	教職員	保護者	地域											
肯定的回答	100.0	91.5	100.0											
目標値	90%以上													
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる 【数値指標】 ※A22 で評価	① 地域協議会との連携・協力を図り、地域人材等を有効活用した学習活動の展開を推進する。 ② 「防犯パトロール隊」「民児協」「自治会」「育成会」「老人クラブ」等の各団体との連携・協力を推進する。 ③ 地域の民間企業や公共施設と連携した体験学習や専門家を活用した授業を年間計画に位置付けて実施していく。 ④ 地域人材等を活用した授業を積極的に公開し、保護者や地域に学校の取組を周知する。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>100.0</td><td>91.5</td><td>100.0</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> B ・いずれも目標値を上回った。感染症対策に十分配慮しながらほぼ予定通り活動を行うことができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。 B ④ 今年度の取組を継続する。		教職員	保護者	地域	肯定的回答	100.0	91.5	100.0	目標値	90%以上		
	教職員	保護者	地域											
肯定的回答	100.0	91.5	100.0											
目標値	90%以上													

本校の特	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教保地「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒ 教保地 肯定的回答 85% 以上	① 日常の安全点検を通して、学校の施設・設備等の安全管理を図る。 ② メール配信システムを有効に活用し、児童の安全確保に努める。 ③ 緊急避難時に備え、非常階段や防火扉周辺を整理したり、施設内の危険個所や異常個所の修理・改善に迅速に対応したりする。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>100.0</td><td>94.2</td><td>100.0</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">85%以上</td></tr></table> ・児童の安全にかかわる事項については優先して対応してきた。いずれも目標値を上回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。		教職員	保護者	地域	肯定的回答	100.0	94.2	100.0	目標値	85%以上		
		教職員	保護者	地域											
	肯定的回答	100.0	94.2	100.0											
目標値	85%以上														
A25 学校は、学習に必要な ICT 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 ※A10 で評価	① パソコンやデジタル教材等、 ICT 機器等の整備に努める。 ② 学校図書館司書と連携し、学習に必要な図書を充実させる。 ③ 児童が調べ学習を行う際に、学校図書館を利用しやすくなるように、担任と司書の連携を密にする。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>教職員</td><td>保護者</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>86.4</td><td>100.0</td><td>85.1</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・ ICT 機器や図書等の積極的な活用を図ったことで、目標を達成できた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。		児童	教職員	保護者	肯定的回答	86.4	100.0	85.1	目標値	80%以上			
	児童	教職員	保護者												
肯定的回答	86.4	100.0	85.1												
目標値	80%以上														
B 1 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。 【数値指標】 児「私は、宿題を含めた家庭学習を平均すると目標時間やっている。学年×10+10 分」 保「自分の子供は、宿題を含めた家庭学習を平均すると目標時間やっている。」 ⇒児保 肯定的回答 80% 以上	① 家庭学習にかかった時間をスタンダードダイアリー等へ記入させたり、家庭学習強化旬間を設定し、児童同士の情報交換の場を設けたり、自学ノートを展示したりして家庭学習の意欲付けを図る。 ② 毎月 1 日を東小ノーゲームデー親子学習デーに位置付け、家庭と連携して習慣づけを図る。 ③ 宿題や自主学習についての基本的な考え方について教職員で共通理解を図るとともに、学年の発達段階に応じ、家庭学習の内容や量について見直す。 ④ 学習時間のめやすや、学習するときの約束事について年度当初に家庭に知らせるとともに、学級懇談で家庭学習についての情報交換を行ったりして、家庭と協力体制が取れるようにする。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>77.3▲</td><td>61.1▲</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・児童、保護者ともに目標値を下回った。 【次年度の方針】 ① 児童が家庭学習の習慣を身に付けられるようにするために、持続可能な取組の方法について検討する。(保護者にサインをもらったり、クラス内で自主学習ノートを見合う時間をとったりするなど) ② 地域学校園としての取組と関連させながら、今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。 ④ 今年度の取組を継続する。		児童	保護者		肯定的回答	77.3▲	61.1▲		目標値	80%以上			
	児童	保護者													
肯定的回答	77.3▲	61.1▲													
目標値	80%以上														

色・課題等	B 2 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 保地「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保地 肯定的回答90%以上	① 年間に3回の授業参観日、2回の土曜授業を設け、保護者だけでなく地域の方々にも、学校や児童の様子を積極的に公開する。 ② 各種たよりの定期的な発行を通して学校の現状や取組等の情報を、地域や保護者に提供していく。 ③ ホームページの更新を積極的に進め、児童のがんばる姿をすぐに保護者や地域に伝えていく。	C 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>保護者</td><td>地域</td><td></td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>96.6</td><td>92.3</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> B ・保護者、地域ともに目標値を上回った。 【次年度の方針】 ① 土曜授業日を1回に設定し、実施内容について再検討を図る。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。		保護者	地域		肯定的回答	96.6	92.3		目標値	90%以上		
		保護者	地域												
肯定的回答	96.6	92.3													
目標値	90%以上														
	B 3 児童は、自分の体に関心を持ち、健康的な生活を送っている。 【数値指標】 児「私は、自分の体に関心を持ち、健康的な生活を送っている」 ⇒児 肯定的回答率80%以上	①年間に2回、身体計測と視力検査を設け、健康票による通知や生活習慣病予防の指導を行う。 ②児童の健康診断の結果や来室状況等の実態を把握し、各種たよりを通して健康情報を選定、発信する。 ③正しい手洗いや清潔保持等日常的な感染症予防行動が身に付くよう、発達段階に応じた指導に努める。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>93.2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> B ・児童の肯定的回答が目標値を上回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。委員会活動等を通して、児童の意識が高まるようにする。		児童			肯定的回答	93.2			目標値	80%以上		
	児童														
肯定的回答	93.2														
目標値	80%以上														

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

本校では、「一人を大切にする」及び「多様性と人権を尊重する」を学校経営の基盤に据え、学校・家庭・地域が一体となった「共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを味わえる学校」を目指し、家庭や地域社会の教育力を活用しながら全教職員が丸となって取り組んできた。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響による教育活動の制限はあったものの、対策を工夫するなどの努力により、少しずつ平常の活動に戻りつつある。学校マネジメント全体アンケートにおいては評価項目の多くで市の平均値を上回ることができた。また、指標とした目標値を達成した項目については、教職員は8項目、保護者は15項目、児童は15項目で昨年度とほぼ同数の結果となった。

本校児童は、A1「進んで学習に取り組む」、A5「粘り強く取り組む」、A8「英語を使つてのコミュニケーション」等については、肯定的回答が90%以上であり、意欲的な姿が見られる。A2 A11「思いやりの気持ち」では、生活の中では優しい面が多くみられるので、今後もそのよさを認め励まし、自信につなげていきたい。A4の「時と場に応じたあいさつ」については、今後も家庭や地域と連携して取り組んでいく。A5 A7「夢や目標に向かった取組」について、保護者の肯定的回答が市平均を大きく上回った。今後も、各種検定や校内百人一首大会等で粘り強く努力することを通して、自信につなげていきたい。A10 A25「ICT機器の活用」については、今後も研修を重ねて各教科での効果的な活用を図っていく。A9「宇都宮の良さ」については、本地区の歴史や文化財を生かした授業や地域行事との関連を図り、地域の方とのふれあいを大切にしながら、今後も児童が宇都宮に誇りをもてるような取組を続けていきたい。B1「家庭学習」の項目では、保護者・児童の肯定的回答が目標値を下回った。今後も、家庭との連携を図りながら、発達段階に応じた指導を工夫し、家庭学習の定着を図っていききたい。

7 学校関係者評価

- ・本校周辺には宇都宮の歴史に関係する多くの史跡等がある。子ども達にとって学ぶための素材は数多いので、コロナの状況にもよるが大いに活用してほしいと思う。
- ・昨年度までに比べ、学校の雰囲気がよくなっていることを肌で感じる。コロナ禍であっても工夫や成し遂げようという気概が感じられた。
- ・懸念としては、コロナ禍と働き方改革が相まり、それぞれの分野で個にこもってしまっているのではないかと。この3年の経過を引継ぎされていない、伝わっていない、知らないということもある。横につながることが今年はやっと思えそうだが各々がその意識を持ち切れるのか非常に心配。
- ・教職員の働き方改革は大賛成だが、効率化や勤務時間の削減には「人員が必要」と強く思う。教員が安心して働ける環境、ゆとりある環境があつてこそ教育（家庭、地域を含む）ができると思う。もし現場が「人員不足」を感じているようで

あれば、このような声を上手く利用してもらいたい。

・「A4 あいさつ」について、割合が高いのが意外だった。地域で知らない大人にあいさつをすることは難しいと思う。学校内の来客やコミセンで会った人にあいさつするくらいの設定が現実的。

・「A20 業務の効率化」について、教職員の割合が低いのが気になる。

・「A2.11 思いやりの心」について、児童の肯定的回答がやや低いことが気になった。低学年の児童の中で、言葉遣いが乱暴な子がいて、「死ね」や「バカ」などと言っていることがある。今後も重要な内容なので対策を検討する必要があると思う。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営全般】

・次年度も「一人を大切にする」及び「多様性と人権を尊重する」を学校経営の基盤に据え、学校・家庭・地域が連携しながら学校教育目標の具現化に向け今年度と同様の方針及び重点目標で学校運営を行う。

【各取組】

・目標数値を達成した取組については、次年度も継続するとともに、児童の実態や達成状況に応じて内容を工夫改善し、更なる充実を図る。

・学習指導上の課題として、「共に学び、楽しく分かる授業の推進」に継続して取り組んでおり、授業の質的向上に努めるとともに国語科を中心に重点的に推進する。

・児童指導上の課題として、より児童の主体性を大切にしたいあいさつ運動や互いのよさを認め合う機会の充実に努めていく。

・ICT機器の活用については、AI型個別学習ドリルやオンライン学習等の有効な活用方法を検討するとともに、職員のICT活用研修を行うなど、児童一人一人に個別最適な学びを推進するための指導力の向上を図る。

・保護者や地域への情報発信等について、今後も有効な方法や内容、時期等を検討し、周知を図る。

・教職員が健康で生き生きとやりがいをもって勤務し、質の高い教育を行うために、校内業務の適正化や効率化について検討し、保護者や地域の協力を得ながら実践する。

○小中一貫教育・地域学校園に関する取組については、最重点目標を明確に打ち出し、児童に対して、活動内容だけでなく目的や意義等についても十分に理解させるとともに、保護者や地域に対して、分かりやすく情報発信する。

・地域の歴史的文化財等については、教科等のねらいに即し発達の段階に応じて活用を検討していく。